

音訳・点訳で 視覚障害者を支える



▲7月19日、録音をする「音訳グループせせらぎ」の皆さん

音訳 グループせせらぎは、平成13年9月から活動を行っており、現在12人で活動をしています。
 モットーは、「眼に障害を持たない人と同じように、早く正確に視覚障害者へ情報を

届ける」です。「広報かのや」や「社協だより」は、発行日には録音を完了し、視覚障害者へすばやく届けています。録音をする場合は、①読む人、②機械の操作を行う人、③校正を行う人が2人、と最低4人で行います。眼の代わりをするので、掲載してあるものすべてを音訳します。ただ、文字だけではなく、写真やグラフ等も訳すため、原稿をつくるのは、一苦勞であり、これで本当に伝わるのかを、何人かでチェックを行った後、録音を始めます。

鹿屋 点訳友の会は、昭和50年ごろから活動しているボランティア団体のひと

視覚障害者の皆さん、ご利用ください。
 市では、視覚障害者の皆さんに「広報かのや」や「社協だより」などを訳した音訳テープ、点訳をお届けします。
 視覚に関する身体障害者手帳をお持ちの皆さんは、無料で利用できますので、市福祉政策課（☎0994-31-1113）までお知らせください。

現在は、今後行われるCD化への移行をスムーズに行えるようにパソコン録音に悪戦苦闘しています。

つで、現在、13人が所属しています。入会したきっかけは様々ですが、社会貢献活動がしたいという気持ちは同じでみんな和気あいあいと活動しています。
 「広報かのや」や「社協だより」を定期的に点訳しており、その他に各総会資料や鹿屋市保健福祉フェスタの式次第、ごみ分別一覧表など行政から依頼された本などを点訳しています。



▲7月26日、定例会時の「鹿屋点訳友の会」の皆さん

一冊ができ上がると達成感があります。
 今後は、現在の活動を継続していくとともに、視覚障害者の皆さんとさらなる交流を図っていききたいと思えます。

視覚障害者の眼となり、眼に障害を持たない皆さんと同等の情報を提供するために、市内では、「鹿屋市音訳グループせせらぎ」と「鹿屋点訳友の会」の2団体がボランティアで活動を行っています。
 この2団体は、鹿屋市が発行するこの「広報かのや」や「社協だより」などを音訳・点訳して、視覚障害者に届けています。今回は、この2団体の活動の様子を紹介いたします。

【問い合わせ】市福祉政策課 ☎0994-31-1113